PRIMEPOWERシャットダウンの検証結果

2003 年 4 月 24 日 富士通コワーコ株式会社 山洋電気株式会社

1.試験目的

- · UPS
- ・ LAN I/F カード実装 UPS
- Web-tap

上記装置を使用して、PRIMEPOWER のシャットダウン検証試験を行なった。

2.試験環境

試験場所 : 富士通株式会社 PRIMEPOWER CENTER

Consultation Room A

試験日 : 2003年4月16日

使用機器1: PRIMEPOWER 1

OS: Solaris(TM) 8 Operating Environment 2/02(64-bit)

使用機器2: PRIMEPOWER 200

OS: Solaris(TM) 8 Operating Environment 2/02(64-bit)

3.システム構成

3.1 Web-tap から PRIMEPOWER 1 のシャットダウン

- Web-tap から PRIMEPOWER 1 の Serial A にシリアルログインによるシャットダウン(別紙1)
 Web-tap から PRIMEPOWER 1 の Serial B にシリアルログインによるシャットダウン(別紙2)
- 3.2 Web-tap から PRIMEPOWER 200 のシャットダウン
 - ・ Web-tap から PRIMEPOWER 200 の SerialA/B にシリアルログインによるシャットダウン (別紙3) 8
 - ・ Web-tap から PRIMEPOWER 200 の UPC インタフェースを使用したシャットダウン(別紙5) 10

3.3 UPS から PRIMEPOWER 1 のシャットダウン

・ UPS(LAN I/F カード)から PRIMEPOWER 1 に Telnet ロヴインによるシャットダウン(別紙6) 13

3 . 4 UPS から PRIMEPOWER 200 のシャットダウン

- ・ UPS (LAN I/F カード) から PRIMEPOWER 200 に Telnet ログインによるシャットダウン (別紙 7) 16
- ・ UPS (LAN I/F カード) から PRIMEPOWER 200 の UPC インタフェースによるシャットダウン (別紙8) 19
- ・ UPS の接点信号により PRIMEPOWER 200 の UPC インタフェースによるシャットダウン (別紙9) 2 1

接続機種	シリアルシャットダウン		UPC (接点)接続		Telnet 接続	
Web-tap	PW1(A ポート)	別紙 1				
	PW1(B ポート)	別紙 2				
	PW200	別紙 3	PW200	別紙 5		
			(特殊ケーブル:	TR 内蔵)		
UPS					PW1	別紙 6
			PW200	別紙 8		
			(特殊ケーブル:	TR 内蔵)		
			PW200	別紙 9		

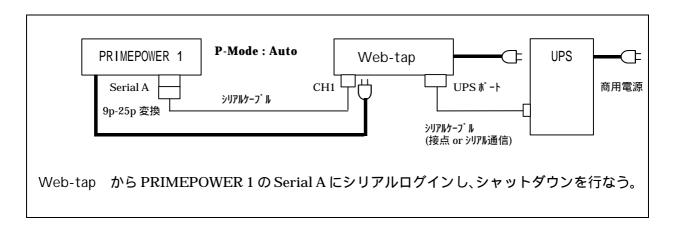
4.試験結果

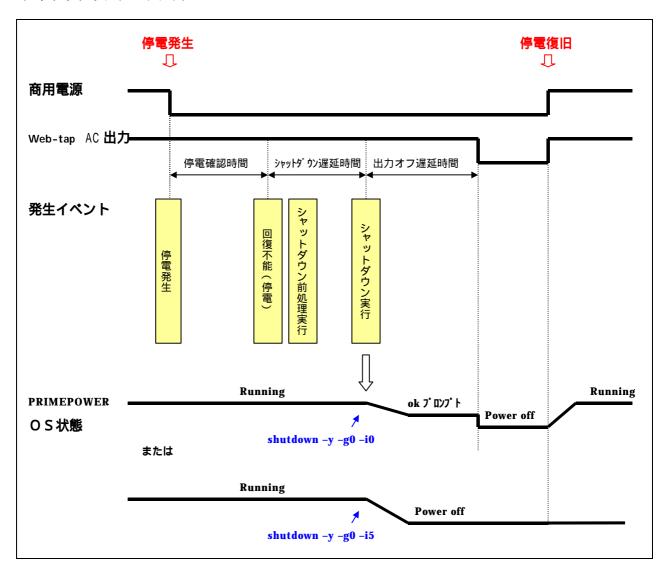
項番3のシステム構成によるPRIMEPOWERのシャットダウン試験を行ない、正常にシャットダウンが行なわれ、動作に問題ないことを確認した。

- 以上 -

Web-tap から PRIMEPOWER 1 (A ポート) のシャットダウン

1.システム構成



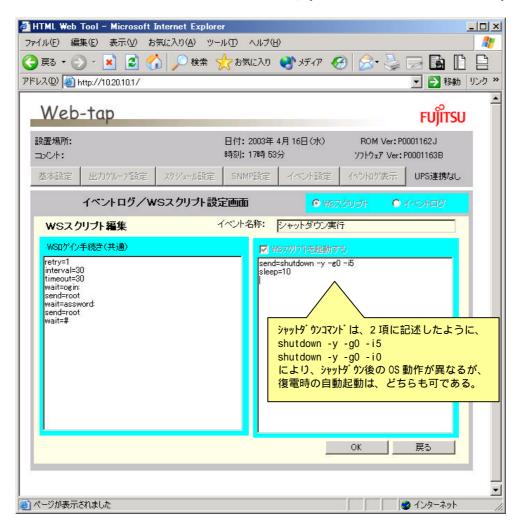


3. Web-tap の設定

該当 CH に「WS (シリアル)」の接続装置を追加する。

停電確認時間、シャットダウン遅延時間、出力オフ遅延時間は、必要に応じて、設定値を変更 する。

イベント設定の WS スクリプトの設定を行なう。(WS スクリプト設定画面参照)



シャットダウンコマンド (init コマンド/shutdown コマンド)

```
init 0 ROM \( \sigma^* \) /usr/sbin/shutdown y g(grace period) i0
```

init 5 電源 OFF /usr/sbin/shutdown y g(grace period) i5

init 6 再起動 /usr/sbin/shutdown y g(grace period) i6

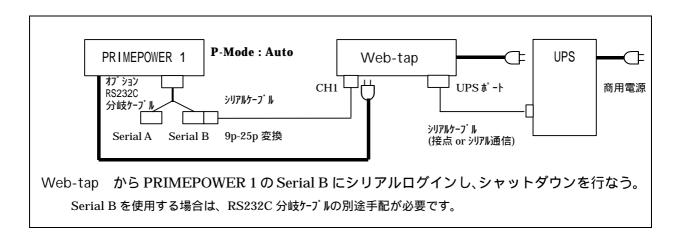
* grace pieriod:待ち時間(デフォルト60s)

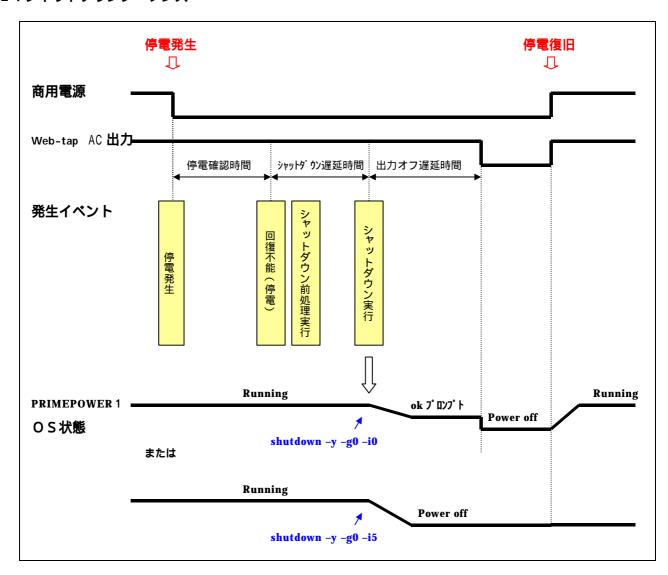
4. PRIMEPOWER 1 の設定

AC 復電時の Web-tap AC 出力 ON により、PRIMEPOWER 1 を自動起動させたい場合は、PRIMEPOWER 1 背面の電源モードスイッチを Auto に設定する。

Web-tap から PRIMEPOWER 1 (B ポート) のシャットダウン

1.システム構成



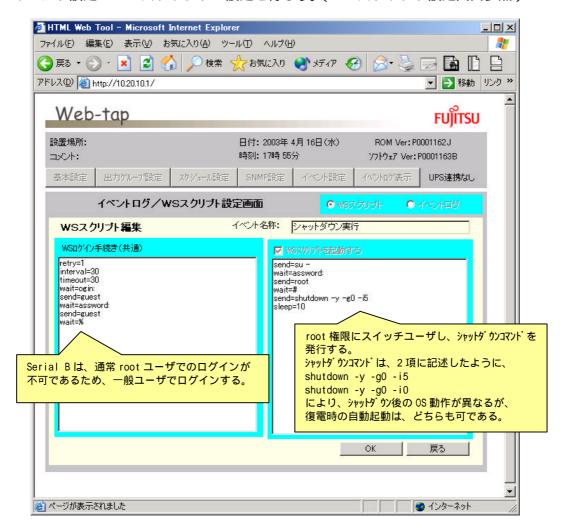


3. Web-tap の設定

該当 CH に「WS (シリアル)」の接続装置を追加する。

停電確認時間、シャットダウン遅延時間、出力オフ遅延時間は、必要に応じて、設定値を変更 する。

イベント設定の WS スクリプトの設定を行なう。(WS スクリプト設定画面参照)



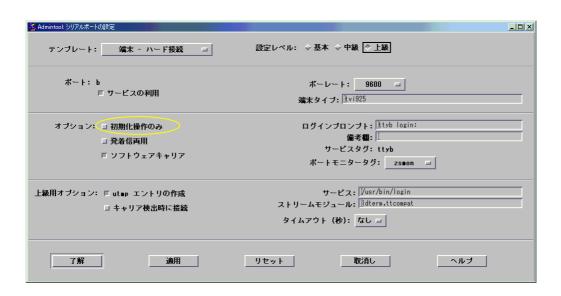
4. PRIMEPOWER 1 の設定

(1) 復電時の自動起動について

AC 復電時の Web-tap AC 出力 ON により、PRIMEPOWER 1 を自動起動させたい場合は、PRIMEPOWER 1 背面の電源モードスイッチを Auto に設定する。

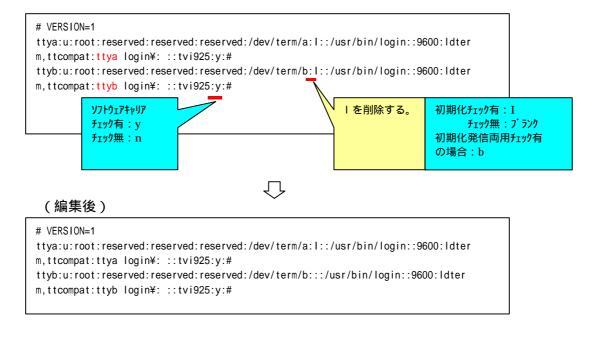
(2) Serial B からログインするための設定

XWINDOW が使用できる場合は、admintool を使用して設定する。



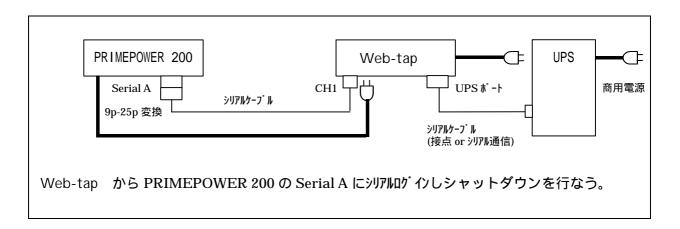
シリアルポートの設定のデフォルト値は、上記、「オプション」の「初期化操作のみ」は、 チェックが付いているため、チェックを外す。

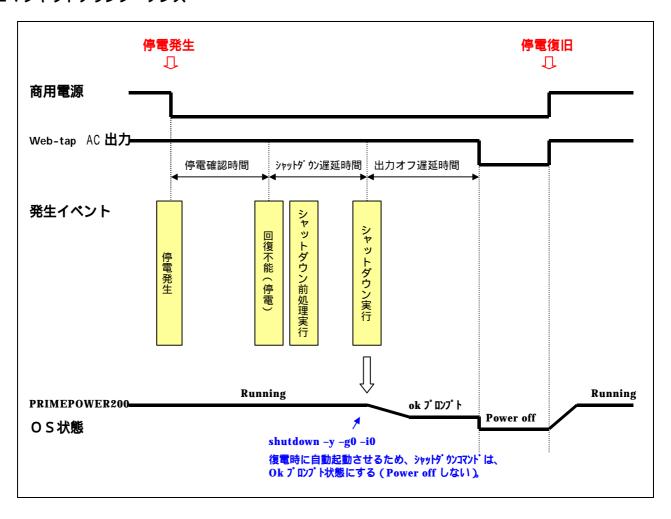
XWINDOW が使用できない場合は、以下の手順で、ファイルを編集し、OS を再起動する。 (編集前)



Web-tap から PRIMEPOWER 200 のシリアルシャットダウン

1.システム構成



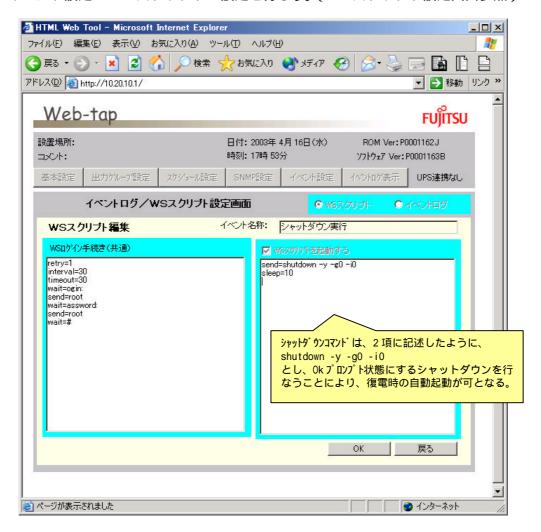


3. Web-tap の設定

該当 CH に「WS (シリアル)」の接続装置を追加する。

停電確認時間、シャットダウン遅延時間、出力オフ遅延時間は、必要に応じて、設定値を変更 する。

イベント設定の WS スクリプトの設定を行なう。(WS スクリプト設定画面参照)



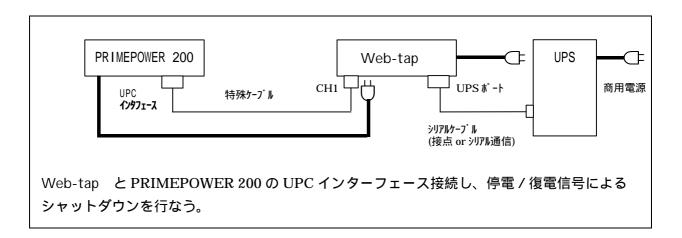
4. PRIMEPOWER 200 の設定注意事項

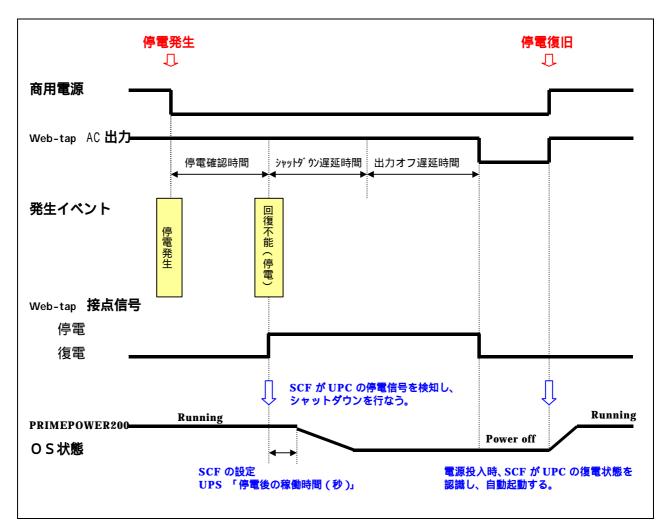
PRIMEPOWER 200 以上の機種では、専用の UPS インタフェース (接点)でシステムシャット ダウンする方法とシリアルログインする 2 種の方法がある。

シリアルログインする場合、自動電源制御のスケジュール設定は行わないで下さい。

Web-tap から PRIMEPOWER 200のシャットダウン (UPC 接続)

1.システム構成





3. Web-tap の設定

該当 CH に「PC (接点)」の接続装置を追加する。

停電確認時間、シャットダウン遅延時間、出力オフ遅延時間は、必要に応じて、設定値を変更 する。

4. PRIMEPOWER 200 の設定

(1) 復電時の自動起動について

AC 復電時の Web-tap AC 出力 ON (復電信号)により、PRIMEPOWER 200 を自動起動させたい場合は、PRIMEPOWER 200 の復電モードスイッチを ON に設定する。

```
#
#/opt/FJSVapcs/sbin/apcsset -P
on 0
#/opt/FJSVapcs/sbin/apcsset -P on
#
```

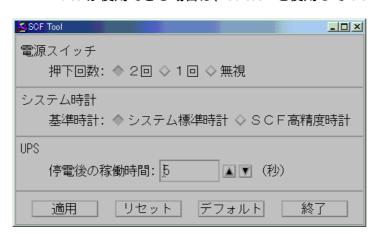
* 自動起動時の PRIMEPOWER200 の動作はオペレータパネルの Manual-Auto-Secure スイッチの設定により異なります。

Manual 設定時:ok プロンプト状態

Auto 設定時: OS が立上り、ログイン入力画面(Secure 設定時: オペパネルスイッチロック)

(2) SCF の設定

INDOW が使用できる場合は、scftool を使用して SCF の設定を行なう。



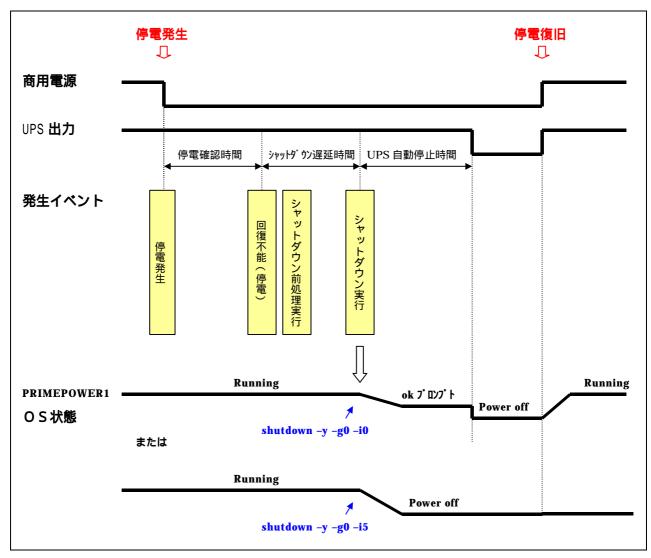
WINDOW が使用できない場合は、scfconf コマンドにて設定を行なう。

```
🏂 コマンドツール - /bin/csh
                                                                                                                                                                                               scfconf
scfdate
                                   rciinfo
                                                                                                       scfpwrlog
 hsadm,
                                                                                                                                         srambackup
                                                                                                                                         voltconf
 Lodecho
                                   rcinodeadm
                                                                                                       scfreport
prtdiag rciopecall scferrlog s
pw200r15% su
Password:
# DISPALY=10.20.5.15:0.0;export DISPLAY
# scftool
                                                                                                       scftool
# scrtool
scftool: not found
# ./scftool
Error: Can't open display:
# DISPLAY=10.20.4.113:0.0;export DISPLAY
# scftool
Usage: apcsset -5
apcsset -T
apcsset -I [-f][-n]
apcsset -L [days][-f]
apcsset -a {[-s time][-e time -t type]} schedule_date
apcsset -a -h YYMMDD
apcsset -d {[-s time][-e time -t type]} schedule_date
apcsset -d -h YYMMDD
apcsset -d num[,num...] [-y]
apcsset -D
apcsset -D
apcsset -P [{on | off | auto}]
apcsset -F [enable [mins] | disable]
**** schedule_date: {-c {YYYYMMDD|YYMMDD|MMDD-MMDD|DD-DD [-r MM-MM]}|
-w {SUN,MON,TUE,WED,THU,FRI,SAT} -r MM-MM]}
  無変換
```

UPS から PRIMEPOWER 1 のシャットダウン(Telnet ログイン)

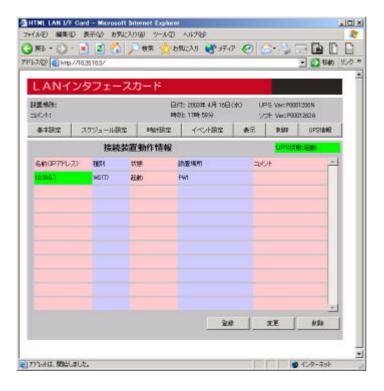
1.システム構成





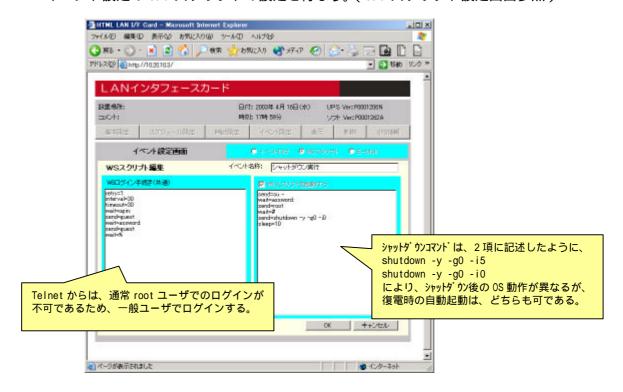
3.UPSのLAN I/Fカードの設定

「WS (LAN I/F カード Telnet ログイン)」の接続装置を追加する。



停電確認時間、シャットダウン遅延時間、UPS 自動停止時間は、必要に応じて、設定値を変更する。

イベント設定の WS スクリプトの設定を行なう。(WS スクリプト設定画面参照)

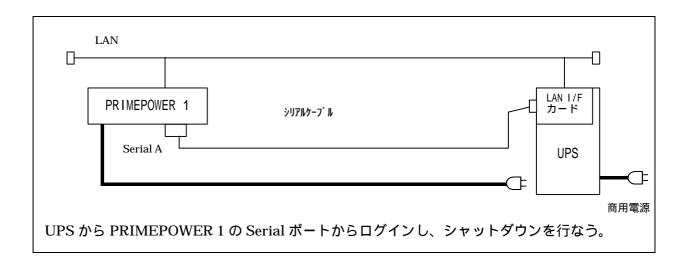


4. PRIMEPOWER 1 の設定

AC 復電時の UPS 出力 ON により、PRIMEPOWER 1 を自動起動させたい場合は、PRIMEPOWER 1 背面の電源モードスイッチを Auto に設定する。

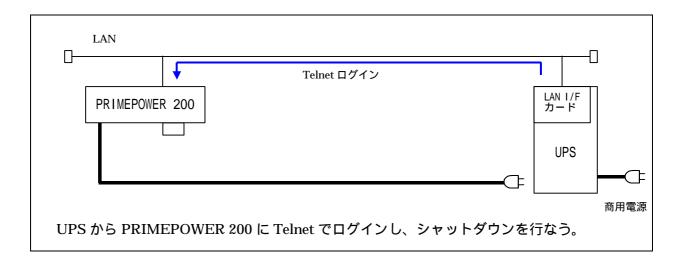
5. その他

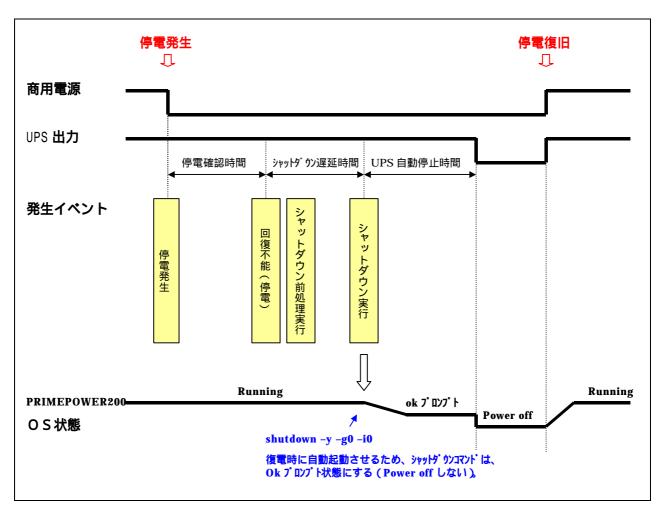
UPS の LAN I/F カードのシリアルポートを使用し、Web-tap と同様に、PRIMEPOWER 1 のシリアルポートからログインしシャットダウンすることも可能である。(別紙 1 と同一)



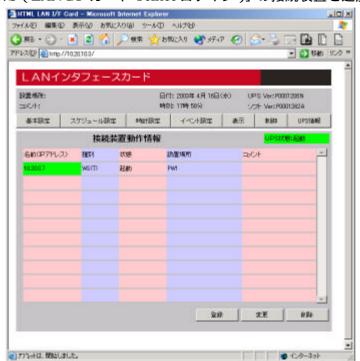
UPS から PRIMEPOWER 200 のシャットダウン(Telnet ログイン)

1.システム構成



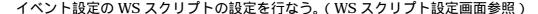


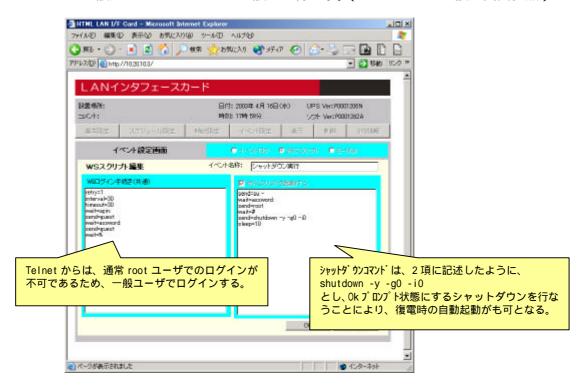
3.UPS(LAN I/Fカード)の設定



「WS (LAN I/F カード Telnet ログイン)」の接続装置を追加する。

停電確認時間、シャットダウン遅延時間、UPS 自動停止時間は、必要に応じて、設定値を変更する。





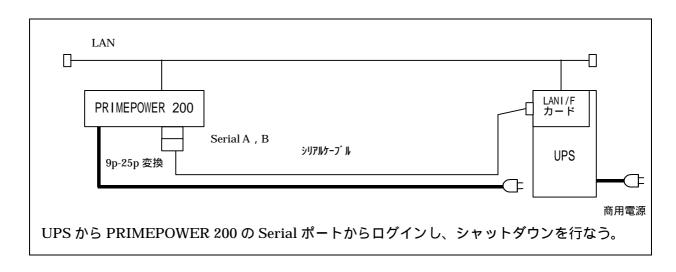
4. PRIMEPOWER 200 の設定注意事項

PRIMEPOWER 200 以上の機種では、専用の UPS インタフェース (接点)でシステムシャットダウンする方法とシリアルログインする 2 種の方法がある。

シリアルログインする場合、自動電源制御のスケジュール設定は行わないで下さい。

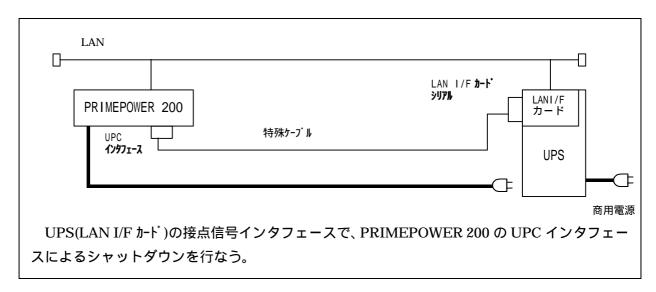
5. その他

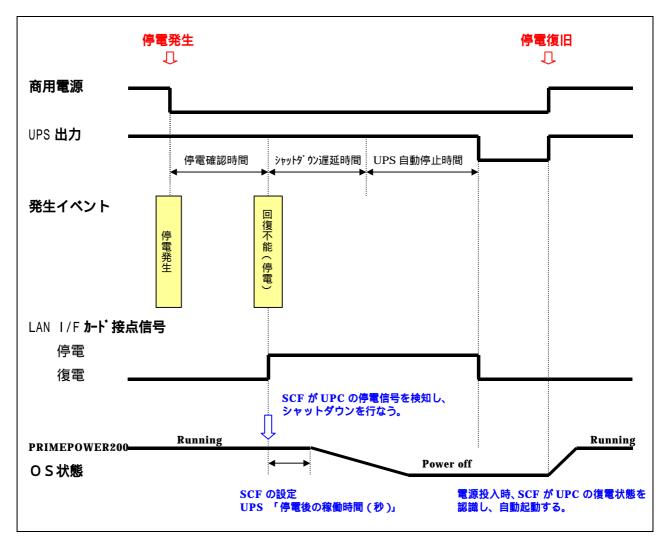
UPS の LANI/F カードのシリアルポートを使用し、Web-tap と同様に、PRIMEPOWER 200 のシリアルポートからログインしシャットダウンすることも可能である。(別紙3と同一)



UPS から PRIMEPOWER 200 のシャットダウン (UPC 接続) 別紙 5 参照

1.システム構成





3.UPS (LAN I/F カード)の設定

「PC(接点)」の接続装置を追加する。

停電確認時間、シャットダウン遅延時間、出力オフ遅延時間は、必要に応じて、設定値を変更 する。

4.PRIMEPOWER 200 の設定

(1)復電時の自動起動について

AC 復電時の UPS 出力 ON(復電信号)により、PRIMEPOWER 200 を自動起動させたい場合は、PRIMEPOWER 200 の復電モードスイッチを ON に設定する。

```
#
#/opt/FJSVapcs/sbin/apcsset -P
on 0
#/opt/FJSVapcs/sbin/apcsset -P on
#
```

* 自動起動時の PRIMEPOWER200 の動作はオペレータパネルの Manual-Auto-Secure スイッチの設定により異なります。

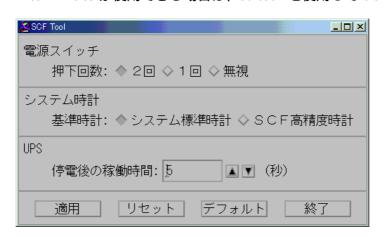
Manual 設定時: ok プロンプト状態

Auto 設定時 : OS が立上り、ログイン入力画面

(Secure 設定時 :オペパネルスイッチロック)

(2) SCF の設定

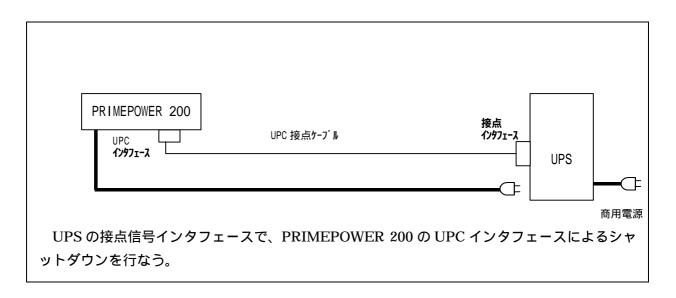
XWINDOW が使用できる場合は、scftool を使用して SCF の設定を行なう。

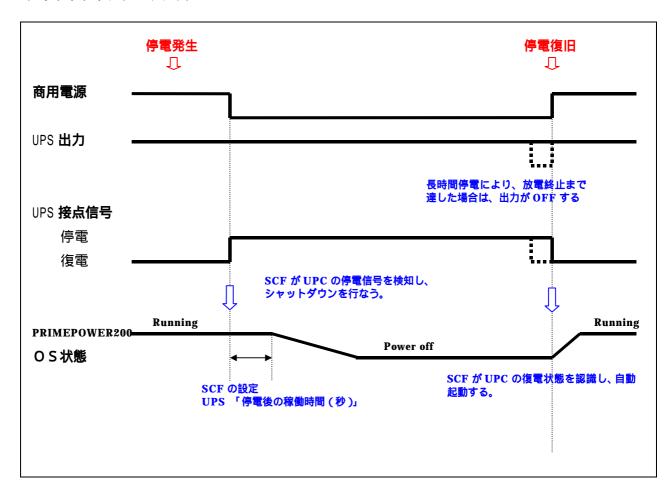


XWINDOW が使用できない場合は、scfconf コマンドにて設定を行なう

UPS から PRIMEPOWER 200 のシャットダウン (UPC 接続)

1.システム構成





3.PRIMEPOWER 200 の設定

(1)復電時の自動起動について

AC 復電時の UPS 出力 ON (復電信号)により、PRIMEPOWER 200 を自動起動させたい場合は、PRIMEPOWER 200 の復電モードスイッチを ON に設定する。

```
#
#/opt/FJSVapcs/sbin/apcsset -P
on 0
#/opt/FJSVapcs/sbin/apcsset -P on
#
```

* 自動起動時の PRIMEPOWER200 の動作はオペレータパネルの Manual-Auto-Secure スイッチの設定により異なります。

Manual 設定時: ok プロンプト状態

Auto 設定時 : OS が立上り、ログイン入力画面

(Secure 設定時 :オペパネルスイッチロック)

(2) SCF の設定

XWINDOW が使用できる場合は、scftool を使用して SCF の設定を行なう。



XWINDOW が使用できない場合は、scfconf コマンドにて設定を行なう。